

一人は万人のために
万人は一人のために

URL <https://tokyogak.coop>

Email postmaster@tokyogak.coop



No.603

2月号



【ホームページ】

発行所/東京都学校生活協同組合

〒154-0017

東京都世田谷区世田谷 1-41-12

携帯から 03-3428-8041

フリーダイヤル 0120-80-0535

フリーファックス 0120-10-0130

発行責任者/小林 孝衛

子どもたちと沖縄戦戦場に駆り出された少女たち



南燈慰霊之碑

東京都学校生協の「子どもたちと沖縄戦Part3」が、昨年12月26日から29日まで日程で行われました。今回のテーマは「なごらん・白梅・瑞泉学徒隊の足跡を訪ねる」ことを中心に実施されました。初日は陸上自衛隊勝連分屯地、米軍のホワイトビーチ、辺野古の埋め立て地など、今の沖縄の姿を視察しました。

翌日から学徒隊の足跡をたどり、最初に「なごらん学徒隊（沖縄県立第三高等学校）」。発祥の地（現北部病院）、南燈慰霊之碑（写真左）、八重岳野戦病院跡などを訪ねましたが、南燈慰霊之碑が県立名護高等学校の敷地にあることが印象的でした。学校の敷地に慰霊碑があることは極めてまれなことだからです。

「白梅学徒隊（沖縄県立第二高等学校）」については、白梅学徒隊の戦争体験を継承している「若梅会」の新垣ゆきさんから、会の運動についてのお話を聞きました。新垣さんは、「私たち戦争体験者がいなくなるのは目前。体験者がいなくなったら、継承の取り組みはやらなくていいということではないでしょ？」という元白梅学徒隊の中山きくさん（享年94）の呼びかけで運動を始めた青年です。



ずいせんの塔

戦前の沖縄には21の旧制中学校があり、沖縄戦ではすべの根拠もないまま戦場に動員されました。男子は14歳から19歳で、上級生が鉄血勤皇隊、下級生が通信隊に配属されました。また、陸軍中野学校直属の護郷隊に配属された学徒もいました。女子は15歳から19歳で、従軍の看護助手として配属されました。学校生協では、今後も「子どもたちと沖縄戦」をテーマに学徒隊の足跡をたどり、唯一の地上戦が行われた沖縄戦について考えていきたいと思っています。なお、最終日はオプショナルとして復興が進む首里城の今を訪ねました。

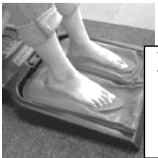
年度最後のパラマウント製靴

【飯田橋店内覧】

3月2日(日) 2時~13時
(9時~16時)

30分刻みでお受けしています。

ご予約は
学校生協まで
03-3428-8041(代)



※あなたの専用インソールを作れば万全

FERMO
フェルモ豊田

提携特典 **0.5%割引**

JR中央線「豊田」駅 徒歩6分

ZEH-M Oriented 認証取得予定

ENEOS不動産が贈るツインレジデンス フェルモ豊田

お問い合わせは(株)長谷工コーポレーション「提携お客様サロン」

【提携先】 **0120-958-909**

営業時間/9:00~17:00(土・日・祝日定休)

※掲載の内容は2025年1月8日現在のものです。詳細は物件HPをご覧ください。